

編集後記

中国の演劇は、日本ではまだ一部の熱心なファンと専門家のものである。それも、日本人京劇俳優の誕生が話題になったり、各地に京劇愛好会が誕生したりしているように、日本では中国演劇と言えば京劇というイメージが圧倒的だ。

実際には長い歴史を有し、各時期に隆盛を誇る芝居があった。現在でも、広い中国各地に数多くの演劇があつて多様である。そのありようにも、祭祀儀礼として、娯楽として、政治的プロバガンダとして、あるいは庶民の楽しみとして、文人の趣味として、また、作

者として、演者として、観客としてなど様々な側面がある。いずれにせよ、演劇はいつの時代にも、場と時とを共有する観客という支持者がいて存在できる。だから人々の思いや願いを取り込み、人々を映す鏡としてあるのだろう。

本特集の寄稿者は、必ずしもジェンダー研究者ではない。しかしあえて各自の研究対象を、ゆるやかなジェンダー的視点から論じていただいた。無理な注文に応じてくださったことに、心よりお礼申し上げます。その結果、人々の演劇との関わりかた同様、様々な視点が見え、混在することとなったが、それもまたジェンダー論の今を示すものだろう。

◆投稿原稿を募ります◆ 『中国21』は、新しい発想から現代中国をめぐる諸問題に切り込む、気鋭の論考を広く募集いたします。現代中国に関するテーマであれば、そのジャンルは問いません。むしろ、既存の学問のジャンルを打ち破るような斬新な発想を期待いたします。募集の要領は左記の通りです。

①現代中国に関する論考（未発表のものに限る）。②四〇〇字詰原稿用紙換算。論説、研究ノート、報告・ルポ、資料等③五〇枚程度、書評④二〇枚程度、エッセイ⑤一〇枚程度。③原則としてワープロで作成した縦書き原稿二部及びフロッピーディスクを提出。

◆表紙画募集◆ 『中国21』の表紙デザインに用いる絵画・写真を募集いたします。絵画については作品のカラー写真を、写真についてはプリントを御送付下さい。

送付先
〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇
愛知大学現代中国学会
☎〇五六一(三六一)三二一四
FAX(〇五六一)三六一五五二六

投稿規程の詳細は現代中国学会室までお問い合わせ下さい。採否は、編集委員会の検討を経て決定し、採用にあたっては規定により薄謝を呈呈します。なお、応募された原稿及びカラー写真等は、採否に関わらず返却いたしません。

難しいことはさておき、現状では日本では公演がわずかしか催されない。演劇を愛する若者が増えている昨今、多くの楽しむ舞台を生で見られるようになることを心から願うものである。
(松尾肇子)

愛知大学現代中国学部 <http://uicr.a-u.ac.jp/college/chi.html>

中国21 編集委員会

〔編集長〕 加々美光行 木島史雄 黄英哲
高明潔 砂山幸雄 高橋五郎 張琢
服部健治 馬場毅 松尾肇子 (五十音順)

中国21 Vol.20

二〇〇四年八月二十五日発行

編集

愛知大学現代中国学会
愛知県西加茂郡三好町黒笹三七〇
電話(〇五六一)三六一三二一四

発行人

古 森 利 眞

発売

風 媒 社
名古屋市中区上筒井二一九一四
久野ビル

電話(〇五二)三三三一一〇〇〇八

印刷

株式会社 みるむ
名古屋市中区千代田三一一一
電話(〇五二)三三三二一〇八六